

砂防・急傾斜管理技術者資格制度がスタートします

I. 創設の背景と目的

近年、伊豆大島、広島での大規模土砂災害、紀伊半島での深層崩壊災害など、激甚な土砂災害の発生が続き、尊い多くの人命が失われています。これらの災害は社会に大きな衝撃を与えていることから、その被害の防止・軽減に向けた適切な対応が、従来にも増して強く求められています。

こうした人命に直接係わる土砂災害の防止・軽減に携わる技術者には、これまでも増して、溪流や斜面及び対策施設の現状の的確な把握・評価、適切な対策の方法や具体的な手順など土砂災害の危険性に関する特有で広範かつ確実な知識と豊富な経験並びに公益に関する高い倫理が求められています。

一方で、今般、国土交通省では、砂防関係施設を含む膨大な管理施設の維持管理に対処し得る技術者の確保を重大な課題として、このための技術者の登録制度の検討が行われるとともに、資格取得者の業務への活用が図られようとしています。

しかし、現在こうした社会的要請に応えることのできる砂防、急傾斜分野に特化した資格者制度は見受けられません。

そこで、公益社団法人である砂防学会では、砂防に関する広範かつ確実な知識と豊富な経験を有し、真に高度な専門的能力と高い倫理観を有する砂防技術者を中立客観的な立場から評価・認定することを目的に砂防分野に特化した砂防・急傾斜管理技術者資格制度を平成27年度より創設することにしました。このことで、砂防に係わる技術者の更なる資質の向上と砂防学の進歩が図られるとともに国土の保全、国民の生命の安全に寄与するものと考えられます。

会員の皆様はもちろんのこと、砂防関係事業に係る民、学、官の技術者の方々が積極的に挑戦して頂くことを期待しています。

II. 試験制度の概要

1. 受験資格

(1) 学歴制限なし

(2) 経験年数

砂防・急傾斜地崩壊対策（雪崩対策を含む。）（以下「砂防・急傾斜」という。）関係業務に関し7年以上の実務経験を有する者で、実務経験年数のうち2年以上の指導監督的（管理的な立場）実務経験を有する者

(3) 試験の免除

1) 一次試験を免除する規定

・一次試験に合格し、二次試験に不合格となった者で、次年度以降3年以内に受験する者

2) 一次試験の一部を免除する規定

①基礎的知識問題（多肢選択式）及び専門的知識問題（多肢選択式）の免除

・技術士（建設部門（河川・砂防及び海岸・海洋））及び技術士第二次試験（建設部門（河川・砂防及び海岸・海洋））に合格した者

②基礎的知識問題（多肢選択式）の免除

・技術士補（建設部門）

・技術士第一次試験（建設部門）に合格した者

	専門的知識問題（多肢選択式）	28題
②試験時間	基礎的知識問題（多肢選択式）	50分
	専門的知識問題（多肢選択式）	120分

③出題の範囲

- 法令に関する知識 [法令]
- 技術基準、マニュアル等に関する知識 [基準]
- 砂防学的基礎知識 [砂防工学]
- 点検技術、点検方法に関する知識 [点検]
- 診断技術、診断方法に関する知識 [診断]
- 補修設計技術、補修設計方法に関する知識 [補修設計]
- 技術者倫理

④参考 4肢→1択 原則1肢2行以内

3) 経験論文

- ①出題数 1題
- ②試験時間 60分
- ③出題の範囲 砂防・急傾斜関係業務に関する経験
- ④参考 600字詰解答用紙2枚以内

(2) 二次試験

- 1) 試験形式 面接方式
- 2) 試験時間 1人20分を標準（10分程度の延長あり）
- 3) 試験内容
 - ・実務経験証明書の記載内容の確認
 - ・経験論文について、質疑応答により確認
 - ・砂防・急傾斜関係業務に関する知識について、質疑応答により確認

7. 受験手数料

(1) 一次試験

一般	12,000円（税込み）
砂防学会正会員	10,000円（税込み）

但し、一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）及び専門的知識問題（多肢選択式）免除の場合の受験手数料は以下のとおりとする。

一般	10,000円（税込み）
砂防学会正会員	8,000円（税込み）

(2) 二次試験 7,000円（税込み）

8. 参考文献等

- 係法令等(平成22年版・砂防関係法令規集, (社)全国治水砂防協会、あるいは<http://law.e-gov.go.jp>など)
 - 砂防法
 - 地すべり等防止法

- 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律
- 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律 など

- 河川砂防技術基準(国土交通省水管理・国土保全局)

http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/gijutsu/gijutsukijunn/index2.html

- 調査編(第 17 章、第 19 章、第 20 章)
- 計画編(基本計画編第 3 章、施設配置等計画編第 3 章)
- 設計編(第 3 章、第 5 章、第 6 章)

- 砂防基本計画策定指針(土石流・流木対策編)解説(平成 19 年 3 月, 国総研資料第 364 号)

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0364.htm>

および

土石流・流木対策設計技術指針解説(平成 19 年 3 月, 国総研資料第 365 号)

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0365.htm>

- 砂防関係施設の長寿命化計画策定ガイドライン(平成 26 年 6 月, 国土交通省砂防部保全課)

http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/sabo/tyoujyu.pdf

および

砂防関係施設点検要領(案)(平成 26 年 9 月, 国土交通省砂防部保全課)

http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/sabo/tenken.pdf

- その他、砂防・急傾斜地崩壊対策等に関する図書

- 新 砂防工学(平成 3 年 9 月, 朝倉書店)
- 平成 21 年版・鋼製砂防構造物設計便覧(平成 21 年 9 月改訂, (財)砂防・地すべり技術センター)
- 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例(平成 21 年 10 月,(一社)全国治水砂防協会)
- 現代砂防学概論(平成 26 年 4 月, 古今書院) など